

第七章 施設・設備等

第一節 施設・設備等の整備

現状：施設・設備の概要は次のとおり。

用途別土地面積

用途	土地面積	所在地
校舎・講堂・体育施設敷地	45,548 m ²	群馬県太田市藤阿久町 200 番地
屋外運動場敷地	39,513 m ²	群馬県太田市由良
その他（駐車場等）	62,516 m ²	群馬県太田市由良ほか 学生用駐車場 547 台 教職員駐車場 132 台 外来駐車場 65 台
合計	147,577 m ²	

用途別建物の面積及び使用の概要

建物区分	建物面積	概要	備考
第 1 管理研究棟	2,112.88 m ²	執務室 × 3 研究室 × 17 事務室 × 大 1、中 1、小 5 会議室 × 1 応接室 × 1 教材開発室 × 1	建築 1995 年
第 2 管理研究棟	1,658.00 m ²	研究室 × 40 事務室 × 2 教員談話室 × 1 会議室 × 1 保健室 × 1 印刷室 × 1 倉庫 × 1	建築 1981 年
経済学部 1 号館	2,323.59 m ²	教室 × 大 1、中 6、小 17 非常勤講師室 × 1 用務員室 × 1	建築 1967 年
経済学部 2 号館	1,777.52 m ²	教室 × 中 9、小 6 教材庫 × 1	建築 1976 年
法学部 1 号館	3,939.98 m ²	執務室 × 1 教室 × 大 3、中 4、小 12 研究室 × 22 会議室 × 大 1、小 1 非常勤講師室 × 1 教員談話室 × 1 印刷室 × 1 倉庫 × 1 機械室 × 1	建築 1989 年
合同講義棟	888.40 m ²	教室 × 中 4 控室 × 2 ホール × 1	建築 1981 年

建物区分	建物面積	概要	備考
コンピュータ教室	1,155.31 m ²	実習教室×大2、小1 教室×大1 開放端末室×1 執務室×1 サーバー室×1 倉庫×1	建築 1990年
図書館	953.96 m ²	執務室×3 書庫×1 閲覧室×大2、小3 開放端末室×1 機械室×1 湯沸し室×1 情報接続ジャック	建築 1976年
図書館書庫	629.3 m ²	閲覧室×大1 書庫×5 執務室×2	建築 1981年
第1体育館	2,099.78 m ²	スポーツ施設 バレーボール 4面 バスケットボール 2面 テニスコート 2面 更衣室 シャワー室 ステージ	建築 1989年
第2体育館	630.00 m ²	柔道場 剣道場	建築 1972年
教授研究棟	952.07 m ²	宿泊室×41 食堂×2 管理人室×1 台所×1 浴室・洗面所×2	建築 1984,86年
学生食堂	1,697.76 m ²	食堂×946席 サービススペース×2 情報接続ジャック	建築 1983,85年
学生控室	589.42 m ²	プロジェクト学習用スペース 情報接続ジャック 書店スペース	建築 1992年
部室棟甲	730.08 m ²	部活動室×17 事務室×1 保健用スペース 会議室×1 情報接続ジャック	建築 1989年
部室棟乙	733.35 m ²	部活動室×24	建築 1985年
倉庫	22.35 m ²	倉庫スペース	建築 1975年
教員宿舎	167.04 m ²	宿泊室×8 共用室×1	建築 1977年
合計	3,773 m ²		

自己点検・評価：土地面積は147,577 m²を保有し、設置基準(34,212 m²)の430%、建物面積は23,103 m²を保有し設置基準(11,404 m²)の203%にあたり、面積については設置基準を上回っている。全教室に空調設備が完備されている。障害者の受入れのために主要教室へのスロープによるアクセス、一部の教室にエレベータ、障害者用便所が一部に設置されている。各教室の教育に必要な照明度は確保され、蛍光灯は故障の都度速やかに交換されている。建築基準法、消防法等の法的要件は充足されている。

また、情報化、視聴覚設備の向上のために、コンピュータ実習教室×2(情報リテラシー教育時、学生一人に一台を確保)、マルチメディア教室(大教室×4、小教室×4)、ビデオ装備教室×16、マイク装備教室×20、開放端末室×2(学生が授業以外にコンピュータをいつでも利用することが可能)、学生食堂、学生控室、教室の一部に情報接続コネクタを装備するなど、情報のインフラを整備し、学生教育上、学生の学習上のニーズに応えている。

校地については、多年にわたる用地買収により、平成9年度末に44,308 m²の隣接地を新たに取得し、開発行為完了申請のための検査準備の途中であります。

建物については、建築時期が古いものは、老朽化が進んでいるもの、機能劣化などが一部に見られるが、現在の使用には差し支えない範囲であり、今後の使用期間等に配慮し、長期補修計画に基づき計画的に整備し、建物の安定的使用が可能なように維持していく計画である。

第二節 施設・設備の活用

現状の自己点検・評価：休業期間を除く教室区分毎のの活用状況は、次のとおりで、週間の月曜日から土曜日までの6日間に1日6時限の使用を完全可動とした時の教室区分毎の平均使用率は、19.4%から29.2%である。教室数については、現在、マルチメディア機能を含め、教育上の需要を十分に満たしている。全教室に空調設備が設置され、快適な授業環境を提供している。

参考：教室の活用状況

教室		使用率平均
大教室(収容人員200人以上)	7教室	25.1%
中教室(100~200人)	13教室	29.2%
小教室(100人以下)	16教室	27.5%
演習室(24人以下)	29教室	19.4%
全教室等の数	65教室	25.4%

参考：最大使用率の教室 70%

運動用施設としては、運動場 2 面、体育館 2 棟、軟式・硬式用テニスコート 8 面があり、教育上の需要を満たしている。校地内に施設を有しないゴルフ、スキー等の教育については学外の施設を使用している。

学生の課外活動の用に供する施設（部室棟）は、学生の要望をすべて満たす状況ではないが、部活動実施上の支障は殆どない。部室の使用割当ては、部活動等の活動の実態、部員数などを考慮し、逐次、優先使用順序を定め入れ替え等を実施している。

[長所及び問題点]

長所

- ・同一地区に存在し土地面積、建物面積共に、設置基準を大幅に上回る面積を確保している。
- ・北関東地区のローカルな地にあるが、大手私鉄の主要鉄道路の最寄り駅（東武伊勢崎線「細谷駅」）から徒歩 7 分の位置にあり、交通の便は比較的良い。学生駐車場（6 駐車場合計 547 台分）は、自動車通学する学生の需要を完全に満たし、無料で学生に使用させる等の便宜を提供している。
- ・教育上の需要を十分に満たす教室、運動場施設を保有し、全教室が空調化されている。障害者に対する配慮として、主要建物へのスロープ・アクセス、一部に障害者用便所、エレベータが設置されている。
- ・情報教育の観点から、情報基盤のインフラについて高度の整備が行われている。（別途 LAN の章を参照）

問題点

- ・建築後 30 年以上経過した建物があり、一部の建物に老朽化、機能劣化が進行している。
- ・開発行為完了申請の検査準備のために、現在緑地計画を検討中であり、近いうちに整備する予定である。
- ・これまで段階的に土地取得が行われ、その都度その時点での計画により建物の建築が行われてきたため、全般配置の整合性に欠ける点が、やや見受けられる。

[将来の改善・改革に向けた方策]

- ・現在、設置基準を上回る土地面積、建物面積を保有しているが、建築後 30 年に近づきつつある建物面積が少なく、今後老朽化等に伴う立替えの着手に際し、大学の目的と学生のニーズの検討による将来構想に見合った統一体としての整合性を持った中期的整備計画の立案が望ましい。
- ・中期的整備計画の策定に際しては、大学の今後の将来構想の具現に必要な大学の目的、教育理念、教育方法、教育・研究に必要な施設（収容学生数と教室の数）・設備のニーズを明確にすることが必要であろう。